



瓊浦高等学校
学校通信
第 97 号

令和2年9月30日発行
電話 095-826-1261

瓊浦窓の 「9月に思うこと」

教頭 佐藤 一司

2つの台風がいつもより早い秋を運んできたのでしょうか。9月も後半に入った途端に、朝夕は少しばかり肌寒さを感じるようになってきました。

9月といえば例年であれば、初旬に開催される体育祭、16日から始まる就職試験等で慌ただしく過ぎていくイメージがあるのですが、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大によって、様々な行事が中止や縮小となってしまったり、就職試験の開始が1ヶ月遅れてしまったりと、いつもとは少し雰囲気が違う9月となってしまいました。しかし、縮小されて「ブロック別演技発表会」となった体育祭ではありましたが、多くの制約がある中でも一所懸命に取り組んでくれた生徒達、特に3年生の活躍は素晴らしいものがありました。3年生女子のダンス、ブロック別演技、3年男子によるエッサッサ、どれも十分な練習時間がとれなかった中で、例年以上といっても過言ではない程のパフォーマンスを見せてくれました。本気になったときの本校の生徒の集中力と発想力、そして身体能力を改めて感じる機会となりました。当日の様子は、先日クラッシャーでご案内しております通り、「YouTube」で配信しておりますので是非ご覧になってください。本当に素晴らしい「ブロック別演技発表会」であったと思っております。

さて、3年生にとっては、進路を決定させるための受験シーズンがいよいよ目前に迫ってきました。最近放課後に、教室や廊下などあちらこちらで受験に向けての面接練習をしている姿や、職員室でキョロキョロ、うろろしながら面接の指導を頼める先生方を探す姿が目につきます。「ああ、またこの季節がやってきたんだなあ」と毎年の恒例行事のように感じることもありますが、生徒達の真剣な眼差しを見ると、こちら緊張感を覚え、改めて背筋が伸びる思いをすることが多々あります。就職する生徒も、進学する生徒もそれぞれが自分の目標に向けたラストスパートをかける姿は、いつもにも増して真剣であり遅く、感心

させられます。ただ、この雰囲気をもう少し早くもつことができれば、もっと・・・と欲してしまうのも毎年のことになってしまっているのも事実です。しっかりとした進路選択を行うためには、職業を知り、自分自身を知り、目標を立て、その上で十分な準備が必要です。1年生や2年生は、まだ先のことと実感が湧かない人も多いと思いますが、是非、今すぐにも自分の将来についてじっくりと考え、保護者や先生に相談し、大きな「本当の目標」を立てることをお勧めします。「本当の目標」があれば、気持ちが入り、間違いなく自分の行動が変わります。

しかし、得てして私たちは目標を立てても途中で簡単に易きに流れてしまい、その目標を諦めてしまうことがよくあります。「高く自らを導いていこうとするならば、あえて障壁に立ち向かっていかなければならない。その際、一番の障壁は、安逸を求める自分自身の心だ。そのような自分自身に打ち勝つことにより、障壁を克服し、卓越した成果をあげることができる。」とは京セラや現KDDIの創業者であり、日本航空の奇跡の再建を成し遂げたことで有名な稲森和夫さんの言葉です。自分自身の心の弱さを克服するというのはとても難しいことではありますが、決してできないことはありません。自分自身に自信を持って諦めずに頑張ってもらいたいと思っています。次のステップで、それぞれのステージに立った自分自身の姿を想像してみましょう。

吹奏楽部定期演奏会

9月24日(木)、吹奏楽部の定期演奏会が長崎ブリックホールで行われました。近年、吹奏楽部は県コンクールで二年連続金賞に輝き、学校内外の行事に出演するなど活躍しています。今年は多くのイベントが中止になり、発表の場は限られていますが、顧問の足立先生や部員たちの熱意により、会場を座席数の多いブリックホールに移すなど感染防止対策をとった上で無事開催することができました。プログラムは3部構成で、2部は和太鼓サークル・エイサー同好会が出演。吹奏楽部とのコラボも見られました。3部のポップステージでは、最近の映画やアニメ音楽を披露。曲に合わせてサイリウムを振る演出もあり、客席も巻き込んだ楽しいステージとなりました。3年生にとっては最後の演奏会でした。練習ができない期間を乗り越え、素晴らしい演奏会を作り上げてくれました。



ブロック別演技発表会

Keep on smile ☺
~こころをひとつに~

9月5日(土)に瓊浦高校グラウンドで、ブロック別演技発表会が開催されました。予定通りの体育祭が開催できないなか、生徒職員のみ参加、プログラムを限定するという形で実施されました。心配された天気は何事もないかのように快晴。それぞれの思いを乗せて、3年生の演技発表とリレーが行われ、見事緑ブロックが優勝しました。様々なことが制限されている状況の中で、生徒達は120%の力を出せたように思えます。来年はまた体育祭を開催し、保護者の方々に生徒のはつらつとした姿をお見せできることを信じて、一步一步前進していきたいところです。



~ 優勝団長インタビュー ~

緑ブロック団長 前田 一鷹 (普3D)

Q. 終わってみての感想をお聞かせ下さい。

前田: ブロック長としてみんなをまとめることが難しく、例年より短い練習時間でパフォーマンスを完成させることは大変でした。ですが、本番ではブロックの団結を見せることができ、優勝することができました。三年間で一番思い出深い体育祭となりました。

Q. 「ブロック別演技発表会」という形での開催となりましたが、どういう心境で本番に臨みましたか?

前田: 開催できない高校もあるなかで、こういう形でも開催できること、練習時間を確保して下さった先生方、放課後遅くまで残って準備してくれたみんなに感謝し、全力で楽しもうと思ひ臨みました。

Q. 後輩達に一言お願いします。

前田: 体育祭は全員で協力することが大切です。団長をはじめとした応援団のみんなは、たくさん話し合いをしてパフォーマンスを決めます。ブロック全員で楽しみ、素晴らしいパフォーマンスをつくって下さい。ブロック演技は「団結力」を見せることが大切です!!



県2冠の快挙達成!!

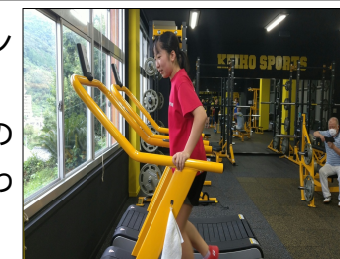
女子卓球部に所属する中道萌花さん(普1D)が、先日県立総合体育館で行われた長崎県選手権全日本選手権予選において、ジュニアの部(小学生~高校2年生まで)、一般の部(年齢制限無し)の両方で優勝。見事2冠を達成しました。これにより、来年の1月に行われる全日本選手権大会の出場権を勝ち取りました。

高校1年生で2冠を達成したのは長崎県では彼女が史上初です。実は昨年度もジュニアの部で全日本選手権大会に出場しています。長崎県で中学3年生ながら全日本選手権大会の出場権を得たのも史上初です。彼女は小さい頃から「瓊浦高校で卓球をしたい。活躍したい。」という想いがあり、それを胸に本校に入学しました。今後の抱負としては、「全国大会での活躍を目標にしつつ、着実に力をつけていきたい」とのこと。今後ますますの活躍に期待です!



トレーニングジム完成!

瓊浦高校にトレーニングジムが設置されました。学校のイメージカラーである黄色と黒で彩られた空間に、最新鋭の器具の数々。9月25日(金)にはオープニングセレモニーも行われ、これから授業や部活動などで本格的に使用されていきます。



《 主な行事・10月 》

2日(金)	中間考査(~6日)	13日(火)	就職出陣式(3年)
7日(水)	球技大会	16日(金)	1年前集会(2年)
10日(土)	第2回学校見学会	20日(火)	就職選考開始
	対外模試(3年、~11日)	29日(木)	献血(~21日)
12日(月)	振替休日	31日(土)	自動車学校説明会(3年)
			学年PTA(3年)
			対外実力(1、2年)
			対外模試(3年)

【 部活動成績 】

卓球部		水泳部	
令和2年度長崎県卓球選手権大会		〔男子〕	
高校女子シングルス		50m自由形	竹野 友貴(機2B)第2位
中道 萌花(普1D)	第1位	100m自由形	竹野 友貴(機2B)第3位
一般女子シングルス		400m個人メドレー	川口 奏(情2B)第1位
中道 萌花(普1D)	第1位	〔女子〕	
陸上部		100m自由形	釜田 莉鈴(普2C)第3位
令和2年度長崎県高等学校新人体育大会		200m自由形	釜田 梨鈴(普2C)第3位
男子100m		800m自由形	村川 樹桜(情2A)第3位
山崎 一沙(機2C)	第3位		